

---

# あいらぶゆー？

綾香

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あいらぶゆー？

### 【Nコード】

N4436B

### 【作者名】

綾香

### 【あらすじ】

貴方のこと、時々今すぐ抱きつきたいほど好きになるときがある。でもたまに、殺したくなるような、のろってやりたくなるように、無性になるときがあるの。これは一種の精神病だって医者は言うけど、こんな複雑な私、貴方は受けとめてくれる??

## プロローグ

愛してる、でもあいしてない。

この微妙な貴方への気持ち。

あなたは受け止めてくれる??

あいらぶゆー?

キャスト

田中清羅	/ /	k i y o r a t a n a k a
廣野啓太	/ /	k e i t a h i r o n o

## ブログ（後書き）

なるべく1日に一回は更新していくつもりです。未熟者な私ですが、どうか完結するまで見守ってくれると嬉しいですね。感想などありましたらぜひお願いします。

## 第1話 狂った愛

あたしの壊れた恋愛感情が芽生え始めたのは14歳の春。

中学2年生で、本当に愛していた彼に、

今までは遊びだった、おまえにはもう飽きた。

そんなことを言われて、私の歯車は確実にずれはじめていた。

それでも私は本気で人を好きになってしまっ。

また、飽きたといわれて捨てられる気がするのに。

向こうは本気で私を愛していないんじゃないかと思うのに。

こりずにまた相手を信じて本気で愛してしまうの。

でも、私はどこか狂っている。

本当に本当に愛している、と思うときがあるのに、

2日後には殺してやりたいと思う。

別に喧嘩も何も、会話さえしていなくても。

無性に呪いたくなる。

でもそのまた2日後には今すぐ一緒にベットに入りたくなくなるくらい、  
大好きになる。

そんな狂ってる愛。

病院に行くと、医者は一種のストレス性精神病といった。

なにか大きなショックが、苦しみが、

1度に押し寄せるとおこる病氣らしい。

日常に支障はないが、よほどに心の広い相手ではなくちゃ、

嗚呼、私は一生結婚なんて出来ない。

## 第二話 廣野啓太

そして今、私が愛しているのは、5組の廣野啓太君。

愛したときはいつも思っけれど、

この人なら絶対に裏切らない気がする。

私を本当に愛してくれる気がする。

私の病気を・・・・・・・・認めてくれる気がするの。

こんな虚しい気持ちなら抱かないほうがいいのに。

でも、啓太君なら・・・・。

啓太君は今まで私の愛してきた人たちとはタイプがずいぶん違う。

今まで愛してきた男の人たちは、

すごく切実そうで、まじめなクールな人が、

優しいそうで、みるからに爽やかな楽しい人かのどちらか。

でも啓太君は、不良で、ちょっと怖くて、いかにも軽そうな人。

耳に、口に、鼻にピアスはしてるし、

学校には週1回か2回でるのがいいトコだった。

私は啓太君が学校に来るのが、すごくすごく楽しみで仕方がなくて、

いつも昇降口で啓太君が来るのを待つ。

啓太君、気づいてるかな??

学校にくるときいつも昇降口にたってる私に。

私をすこしは覚えていてくれるかな??

少しは、そう思いたいよ……。



「いいえ！いいいです、いいです、ぜひ！」

「ねえ。」

「はい？」

「田中って俺のこと、嫌いなのかな？」

「へ？ち、ちがう、むしろ……。」

「ねえ……俺と付き合ってよ。」

「へ……？」

#### 第4話 認めてくれた彼

まさか・・・聞き間違いじゃないよね!?

「だめ?」

「よ、喜んで・・・。。」

「まぢぢ?うれしい!」

遊びじゃないよ・・・ね?

「じゃあ、今日遊ぼ。」

「は・・・い。」

きよ、今日遊ぶことになっちゃった・・・。。

でも・・・病気のこといわなくちゃ。

「あ、田中！……」

「ああ、啓太君。」

「どこ行くー??」

「言わなきゃ、言わなきゃ。」

「啓太君、実は……」

それから私はもくもくと喋った。

啓太君は、黙って聞いていた。

「やっぱ……だめなのかな??」

「そんなこと、俺が気にするとも思っただの??」

「……」

「そんなこと、俺気にしないよ。ねっ?」

「……」

よかった、啓太君は、私の思ったとおりの人だった。

啓太君となら、うまくやっていける気がする………

## 第5話 本当の幸せ

4年後

私はまだ啓太君と付き合っている。

こんな精神病の私でも、やっと手に入れられた幸せ。

そしてそれを認めてくれた彼。

精神病の方も、良い方向に向かっている。

医者が出すには、ストレスが薄れてきたから。

これもきつと啓太君のおかげ。

不良で、でも優しく、心が広い。

そんな私の自慢の彼。

私は今、本当の幸せを手に入れた……………。

E  
N  
D

## 第5話 本当の幸せ（後書き）

はい、ごめんなさい。

わかっているとありますが無理やり終わらせました。

5話で終わる連載小説なんて見たことない・・・。

でも、新しい連載小説のネタを思いついてしまって・・・。

すみません><

でも、そちらの小説の方に期待してくれるとうれしいです。

こんな小説でもおもしろいなどと思ってくれたら幸いです。

感想などお待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4436b/>

---

あいらぶゆー？

2010年10月28日07時56分発行